

【自己紹介】

進藤 彰太（しんどう しょうた）
認定NPO法人 グリーンバレー 移住交流支援センター
愛媛県四国中央市出身。
2025年6月に神山町に移住。

【目的・目標】

まちづくりの文脈において、神山町の空き家活用を通じた住宅供給を促進する。
昨今、増加傾向にある移住者の賃貸需要と空き家の家主さんの売買需要をグリーンバレーがサブリースとして仲介することによる、賃貸が可能な物件の増加と住宅を探している人の無理のないマッチングを目指す。

【今年度の取り組み】

既存のサブリースとして運営している物件の敷地管理や家賃の支払い状況の管理、運営方針の適正化等を行いました。
また、イベントへの参加、開催を通じた空き家活用状況・展望の周知を行いました。
移住交流支援センターの活動としては、移住相談を行ったり、空き家の現地案内を行いました。

【次年度以降の展望】

既存のサブリースとして運営している物件の運営の適正化を引き続き行い、新規の物件の改修や運営を計画し、実行していきます。
不動産の法律や手続きに関して、自分自身も知識・経験を積みながら、神山で空き家に困っているひと、空き家を探しているひとが無理のないかたちで、空き家を手放したり、活用できるように、仕組みづくりを行っていきます。
また、NPOグリーンバレーとして主体的に購入・賃貸している空き家に関して、その地区や物件の特性を活かしながら活用方法を考察し、地域住民を巻き込むかたちで計画を実行していきます。
神山町の雇用機会の増加、移住人口の属性の変化等の背景、それに伴い移り変わっていく住宅事情、それに対する長期的な対策を地域住民に対して啓発していく活動も併せて行っていきます。
また、農村型の住宅が多い神山町において、家主さんの空き家賃貸化の懸念点となる傾向にある草木の剪定や農地の管理等も、自分自身で行えるように勉強し、実践していきます。

